

## 東北大学新聞(277号)

号	277
発行年	1997-10-09
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/56039">http://hdl.handle.net/10097/56039</a>



’97 東北大学祭特集

企画については、  
「今年は早く出揃い順調だ、  
より練った企画になる。企画  
の充実が何より大切だから、  
力を入れないといけない。以  
下の企画について、紹介す  
る。クパルのコンサート」  
初日の十月三十一日六時開  
場六時半開演。川内記念講堂  
出場者は、東北大学生に限ら  
ない。屋外企画担当  
東北大ミス・ミスターコン  
テスト97「みちのく ええ  
おなこ ええおとこ」選手  
権。  
十一月二日十二時半から、  
野外ステジにて行われる。

六月十八日、本学金属材料研究所の本河光博教授は、強力な磁石を使って無重力状態を作り、水を浮かせることに成功した。国内でははじめてで、世界でもフランスの研究所に次いで二番目という。



六月十八日、本学金属材料研究所の本河光博教授は、強力な磁石を使って無重力状態を作り、水を浮かせることに成功した。国内でははじめてで、世界でもフランスの研究所に次いで二番目という。

れる。この企画は、三人の責任者を始め、法学部の学生を中心メンバーとする東北大ミス・ミスターコンテスト実行委員会によって企画運営されている。

今年の六月に、法学部三年から四時まで教室A二〇〇にて行われる。講師は大幅削去

講演会「夢の解釈」  
最終日の十一月三日の二時

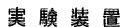
岡上能

网上能斗竟才6

に気軽に来てほしい。ゲーム感覚で体験してほしい。」(浜田・屋内企画担当)

これらのほか、理学部企画「城萩祭、仮装行列、深夜マラソン、フリーマーケットなどが企画されている。また、例

## 金属材料研究所 本河教授に聞く



は減衰することがないので、強い磁場をかけ続けることで抵抗力を一定に保つことができる。本河教授はこう語った。「こういう無重力状態の磁場の中で、雪の結晶を作りたい。雪の結晶は六角形が有名人だ、こういう空間の中ではどのような結晶ができるか楽しみだ。非常にロマンのある研究ができるのではないか。」

無重力状態においては、金属の比重の差によって重い金属が沈むことがないため、新素材の研究に非常に適してい

る。しかし、今はまだ無重力状態を作り出すには自由落下によるものしかない。そしてわざわざ二秒程度しか持たないのだが、今回の強力磁場を使った無重力空間は数秒間にもつという。ただ、まだ実用化には問題が横たわっている。水冷磁石を稼働させるには膨大な電力量が必要になる。それだけで一日百五十万円もの費用がかかるという。超電導磁石だけで二十万ガウスの電圧を発生させることが出来るようになることが待たれる。

以前TVで使った映像を写真に撮らせてもらうことになった。結果が、図の連続写真である。画質は荒いがそこはご了承願いたい。



ここで、我々取材班に一つの難問が立ちふさがる。水を浮いている様子写真を撮るにたいは、写真に収められないというのである。二十万と三十万ガウスの強力な磁場にかメラがやられないようにするための準備が大変だというのが一番の理由。とはいえ、ただでさえ科学をテーマにして取っ付き難いコーナードに、ビジュアル的にも貧相では、読者に申す訳が立たない。そこで、本河教授と何かよい案は



写真中央のかたまりが水  
けると水が浮かび始めた

リタルート 四五〇円  
A4版、全ページフルカラー

書 名	出 版 社	有料 無料
青春と読書	集 英 社	有
本	講 談 社	有
波	新 潮 社	有
図 書	岩 波 書 店	有
みすず	みすず書房	有
U P	東大出版会	無
読書の いずみ	全国大学生生活 協同組合連合会	無
つん読	つん読編集委員会	無

と、岡上さんは言う。今日も學祭実委では、着々と準備が進められている。非日常の空間を、いかかに演出できるかは、ほかでもなく、東北大生の参加にかかっている。

たぐさんある本の中から選ぶのはたいへん難しとだ。そこで、まずは今材に伺った書店の方に推してもらった本を紹介した

◎アイエ書店

『EQ 心の知能指数』

ダニエル・ゴール

講

あなたへの  
一冊

『カール・セーガン科学と  
悪霊を語る』

という出で立ちには、まるで逆通の雑誌のようである。書評以外の特集も充実していて、読みごたえはある。「コミッククダ・ヴィンチ」という漫画のコーナーもある。

『本の雑誌』  
本の雑誌社 五三〇田  
編集長は作家の椎名誠がつ

『学生時代になにを  
学ばなきゃ』

また、読む本を選ぶには書評誌を活用するという手段もある。

『タ・ヴィンチ』

リカルド・タ・ヴィンチ

四五〇田

このほかにも、各出版社が出しているPR誌(表)などをも一度手に取ってみるとよい。

◎丸善  
本社啓  
丸善啓

『管理教育』のすすめ  
諏訪哲二 洋泉社  
『世紀末の作法』  
宮台真司

わる特集が興味深い。書店員

『次』はこうなる』  
堺屋太一 講談社  
『聖書・バツバ・原子力』  
申田啓台 二葉社

『石に話すことを教える』  
妹尾河童

カール・セーガン 新潮社  
◎高山書店  
『2020年からの警鐘』  
目録新聞社

『ヨローッパとは何か』  
増田四郎 岩波新書

とめている。本の周辺にまつ

『カール・セーガン科学と  
悪霊を語る』

『本の雑誌』  
本の雑誌社 五三〇円  
編集長は作家の椎名誠がつ



